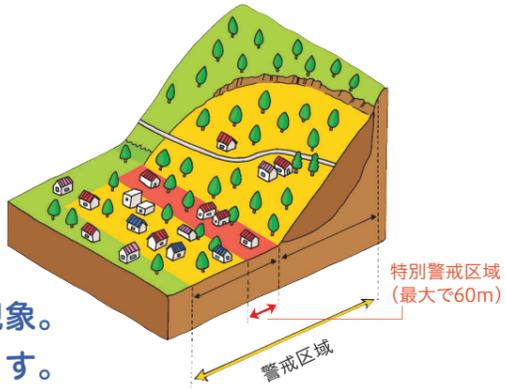
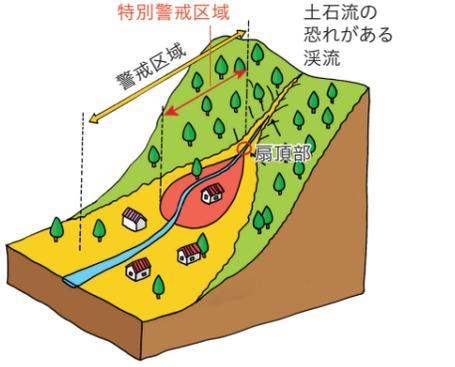
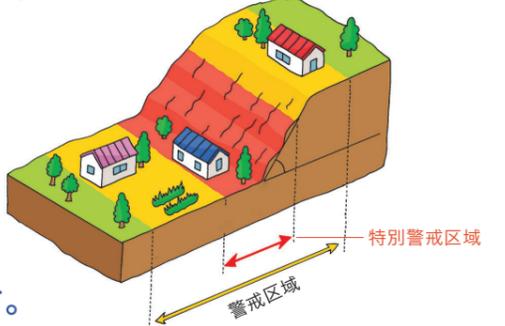


土砂災害を知ろう

台風や大雨、地震などが原因で土砂災害が起こることがあります。危険をイメージし、避難経路を考える際に土砂災害のおそれがある場所を通らないようにしておきましょう。

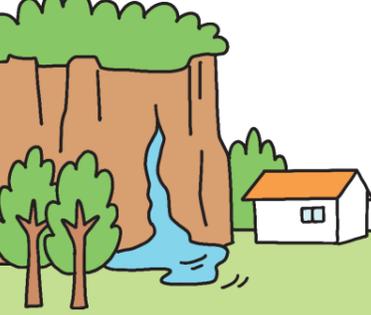
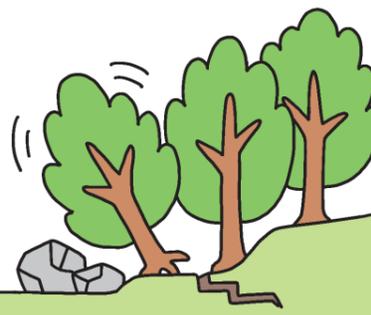
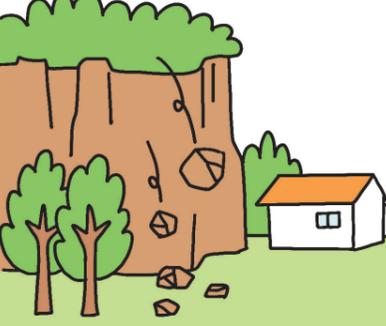
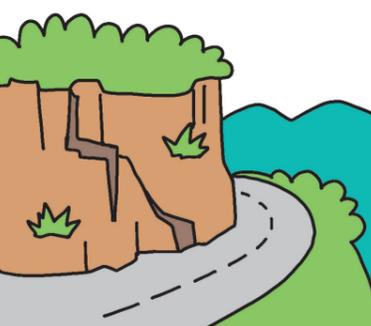


土砂災害の特徴

<p>地すべり</p>	<p>比較的ゆるやかな斜面で、地中の粘土層などの滑りやすい層が、地下水の水位が上がることで、ゆっくりと動き出す現象。</p> <p>大雨や雪が降った時に起こりやすい現象。広範囲に被害をおよぼす危険があります。</p> 
<p>土石流</p>	<p>谷や斜面にたまった土砂が、大雨や集中豪雨によって崩れ、一気に押し流される現象。流れの急な河川や、扇状地などで発生することが多いのが特徴。</p> <p>土石流の速さは 20 ~ 40km/h もあり、すさまじいスピードで家や田畑を飲み込んでしまいます。</p> 
<p>がけ崩れ</p>	<p>傾き30度以上の土砂が崩れる現象。地中にしみこんだ雨水の水分で土の抵抗力が弱くなり、地震の揺れによって突然起こります。</p> <p>速いスピードと強い破壊力によって悲惨な被害につながる傾向があります。</p> 

土砂災害の前兆

崩壊ははじめてからの避難は困難です。こんな現象が起きたら、すぐにその場を離れましょう。

<p>井戸水や湧き水がにごる</p> 	<p>がけや斜面から水が湧き出る</p> 	<p>樹木が傾く、立木が裂ける音がる</p> 
<p>地鳴り・山鳴りがする</p> 	<p>川の水がにごる</p> 	<p>降雨が続くのに川の水位が下がる</p> 
<p>石が落ちてくる</p> 	<p>がけや地面にひび割れができる</p> 	<p>湧き水が減る、止まる</p> 